

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいセンター 菰田

作成日: 平成 28年 7月 13日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化し、内容が画一化してきたので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や他事業所の管理者、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの運営や業務改善に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間の非常災害時には、夜勤の職員一人で9名の利用者を短時間で、安全な避難場所に避難誘導出来るための訓練を、目標タイムを設定して何度も訓練し、夜勤者の自信と、安心に繋げ、非常時に冷静に対応できるように取り組んでいく。	避難場所での見守りは、併設事業所の宿直員にお願いしているが、地域の方にも声掛けし、避難場所での、利用者が二次災害を起こさないように取り組んでいく。また、利用者の緊急連絡先や医療、薬の情報等を何時でも持ち出せる用意をしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。